

全国高等学校長協会の総会・研究協議会に出席。

5月24日（水）～25日（木）、大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7）で開催された「全国高等学校長協会 総会・研究協議会」に出席しました。

全国から高校関係の校長先生約2400名が参加する大会です。私は、昨年度と今年度、全国高等学校校長協会の教育課程研究委員長及び常務理事として、「総会」では壇上に座っていました（総会時の写真は知り合いの校長先生が超望遠で撮ってくれていました）。また、大会前日の23日には、新宿で理事会があり、教育懇談会で文部科学省の幹部の方々とお会いしました。特に、初等中等局教育課程課長の合田哲雄氏と親しくお話ができました。合田氏に「理数探究」「アクティブ・ラーニング」について質問させていただきました。

- 第1日 ①総会 ②祝辞（文部科学省大臣、全国都道府県教育長協議会理事）
 ③講話（文部科学省大臣官房審議官） ④研究協議（愛知県・青森県の発表）
 ⑤行政説明（文部科学省初等中等教育局より2名）★合田氏からも20分間説明あり
 ⑥講演 演題「懸命に生きる人々 ～日本人こそ学んで欲しい～」
 講師 一般社団法人 アジア支援機構代表理事 池間 哲朗 氏
- 第2日 ①研究協議（福岡県・大阪府の発表）
 ②行政説明（文部科学省初等中等教育局2名・高等教育局1名の説明）

最も感動したのは、文部科学省の合田哲雄課長の話でした（写真下中央）。わずか20分間でしたが、理路整然とし「論理力」に満ちた素晴らしいスピーチでした。世の中の大きな変化の中で、「日本の教育の未来」をデザインしてくれている天才だと思います。全国の校長先生方が「納得解」に包まれた瞬間でした。また、5月16日（火）に「2つの新テスト」の実施方針（案）が出された直後の文科省行政説明がありましたので、校長先生方は、真剣そのものでした。パブリックコメントを経て、6月末に「高校生のための学びの基礎診断」と「大学入学共通テスト」の実施方針が発表されることになります。

